

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)

【公開番号】特開 2005-209121 (P2005-209121A)

【公開日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【年通号数】公開・登録公報 2005-030

【出願番号】特願 2004-17702 (P2004-17702)

【国際特許分類】

G 0 7 D 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 7 D 1/00 G B N

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 17 日 (2007.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

円板体を一個ごと区分けするためのディスク (102) と、前記ディスク (102) によって移動する円板体をガイドするディスク基盤 (104) と、前記ディスク基盤 (104) を有するとともに、前記ディスク (102) が円板体の厚さに応じて前記ディスク基盤 (104) に対して当該ディスク (102) の高さを調整可能な段差部 (149) を有する装置本体 (100) と、前記ディスク (102) が取付けられ、前記装置本体 (100) に上下調整可能に挿着してなる回転軸部材 (160) とを備え、前記回転軸部材 (160) を前記段差部 (149) に選択的に取付けてなることを特徴とする円板体の放出装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

前記回転軸部材 (160) は、前記ディスク (102) を回転する回転部 (162) と、前記回転部 (162) を回転可能に枢着する台座部 (161) とを有し、前記回転部 (162) に、動力伝達部材 (142) に連係する横架部材 (165) が挿脱可能に装着されるとともに、前記台座部 (161) が前記段差部 (149) に固定されてなることを特徴とする請求項 2 に記載の円板体の放出装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記動力伝達部材 (142) は、駆動源 (121) からの動力を伝達する歯車群のうちのディスク回転歯車 (143) よりなり、前記ディスク回転歯車 (143) は、前記回転軸部材 (160) の挿通孔 (143a) 及び該挿通孔 (143a) に連通する縦溝 (143e) とを有し、前記縦溝 (143a) に前記横架部材 (165) が係合することを特徴

とする請求項４に記載の円板体の放出装置。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

上記課題を解決するために、本発明は、請求項１に記載したように、円板体を一個ごと区分けするためのディスク（１０２）と、前記ディスク（１０２）によって移動する円板体をガイドするディスク基盤（１０４）と、前記ディスク基盤（１０４）を有するとともに、前記ディスク（１０２）が円板体の厚さに応じて前記ディスク基盤（１０４）に対して当該ディスク（１０２）の高さを調整可能な段差部（１４９）を有する装置本体（１００）と、前記ディスク（１０２）が取付けられ、前記装置本体（１００）に上下調整可能に挿着してなる回転軸部材（１６０）とを備え、前記回転軸部材（１６０）を前記段差部（１４９）に選択的に取付ける。

この発明によれば、ディスクを回転するための回転軸部材を装置本体の段差部に選択的に取付けて、円板体の厚さに応じてディスク基盤に対してのディスクの高さを調整することができる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２０】

請求項５に記載したように、前記動力伝達部材は、駆動源からの動力を伝達する歯車群のうちのディスク回転歯車よりなり、前記ディスク回転歯車は、前記回転軸部材の挿通孔及び該挿通孔に連通する縦溝とを有し、前記縦溝に前記横架部材が係合する構成とした。

この発明によれば、ディスク回転歯車の挿通孔に形成された縦溝に横架部材を上下方向に移動可能に設けたので、回転軸部材は、ディスクを回転するとともに、ディスク回転歯車内を上下に自在に移動してディスクを円板体の厚みに対応した高さに調整できる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３１】

ディスク取付基部１２０は、ＡＢＳ樹脂からなる矩形状の基台１０３を形成し、基台１０３の上面部に、ディスク基盤１０４と、モータ１２１用の開口１０５と、ホッパー１０１の取付孔１０６ａ～１０６ｄとが形成され、さらに基台１０３の互いに対向する長辺の下縁に、下方に垂設された係止片１０７ａ～１０７ｆが形成されている。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００４９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００４９】

このディスク回転歯車１４３は、ポリアセタール、アセタール樹脂などにより一体成型されており、図６にも示すように、ボス部１４３からリム部１４３ｂにかけて放射状に蓮根のような孔を形成するリブ部１４３ｃが一体に形成されている。